

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0148-1	男女共同参画推進事務経費					01	02	01	18	152	51
	事業名	0148-1	男女共同参画推進事務経費	所属	100900	人権生活環境部人権政策・男女共同参画課	連絡先(記入者) 河野 慶子 22 - 9632					
基本施策	41	あらゆる場に男女がともに参画する社会をつくる										

概要	事業概要	男女共同参画の推進				事業期間										
						平成	9	年度	～	平成	年度					
	根拠法令・要綱等	男女共同参画社会基本法 ・ 伊賀市男女共同参画推進条例				審議会・委員会等		伊賀市男女共同参画審議会								
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入				分掌事務番号		1	3						
	対象(誰を、何を)	行政職員・就学後の市民				※対象件数		単位		H23実績		H24実績		H25見込		H26目標値
成果(どうする)	固定的性別役割分担意識を払拭し、男女共同参画への理解を深めることができる。															
H24実施内容	審議会等への女性委員の登用拡大のため、各担当課とヒアリングを行った。 男女共同参画情報紙「さらさら」を市内回覧で4回発行した。 企業に対する情報提供と啓発を行った。															

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23		H24		H25	H26	
	活動指標	情報紙発行回数	回	目標 2.0 実績 2.0	目標 4.0 実績 4.0	4.0		4.0	
成果指標	審議会等女性委員の登用率	%	目標 32.0 実績 30.4	目標 34.0 実績 31.6	36.0		38.0		

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									
	国費 (補助率)									
	県費 (補助率)									
	地方債									
	その他									
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)	
[支出]	審議会委員報酬	138	120	240	240	240	240	240	特記事項記入欄(有資格者の状況等)	
	情報紙編集員謝礼	122	27	64	64	64	64	64		
	旅費	102	157	86	86	86	86	86		
	その他	707	548	519	519	519	519	519		
		小計(B)	1,069	852	909	909	909	909		909
		合計(D=(B+C))	5,046	4,896	4,953	4,953	4,953	4,953		4,953
[収支]	一般財源充当額(D-A) (うち繰越金)	5,046	4,896	4,953	4,953	4,953	4,953	4,953	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
	※前年度比	—	△ 151	57	0	0	0	0		
	対象者あたり一般財源充当額									

必要性	6. 市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
固定的性別役割分担意識が払拭されず、男女間の格差がなくなる。	(概ね)順調		
関与の妥当性		協働の状況など	情報紙の編集を市民ボランティアが行っている。
実施方法 (該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	委託・指定管理(非公募・随意)	直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度記載した改善策	市民の男女共同参画意識は、徐々に高まりつつあるものの、まだまだ固定的な性別役割分担意識は強く、啓発に工夫が必要である。また、審議会等への女性委員の登用率については、目標値に達していないのが現状である。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいない。 女性委員の登用率については微増であるものの、ヒアリングの効果が表れるのは1～2年後であると考えられる。
現時点における課題及び課題に対する改善策	男性、企業に対する啓発強化が必要		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	福永 富美子	現状維持	市民の意識変革はすぐに結果が出るものではない。継続的な推進が必要。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0148-2	女性法律相談事業					01	02	01	18	152	51
	事業名	0148-2	女性法律相談事業	所属	100900	人権生活環境部人権政策・男女共同参画課	連絡先(記入者) 河野 慶子 22 - 9632					
基本施策	41	あらゆる場に男女がともに参画する社会をつくる										

概要	事業概要	女性弁護士による女性のための法律相談					事業期間											
							平成	年度 ~ 平成	年度									
	根拠法令・要綱等	男女共同参画社会基本法、伊賀市男女共同参画推進条例				審議会・委員会等												
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入					分掌事務番号		4								
	対象(誰を、何を)	法律的な相談を要する女性					※対象件数		単位		H23実績		H24実績		H25見込		H26目標値	
	成果(どうする)	専門的な知識や助言を得ることができる。																
H24実施内容	月1回(計12回)の相談を実施																	

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明	
			H23		H24		H25	H26		
	活動指標	相談回数	回	目標	6.0	目標	12.0	12.0	12.0	
				実績	6.0	実績	12.0			
成果指標	相談者数	人	目標	24.0	目標	48.0	48.0	48.0		
			実績	25.0	実績	44.0				

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	
[収入]	使用料・手数料								
	国費 (補助率)								
	県費 (補助率)								
	地方債								
	その他								
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)
[支出]	弁護士報酬	300	600	600	600	600	600	600	
	その他	33	63	68	68	68	68	68	
	小計(B)	333	663	668	668	668	668	668	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
人件費	正規職員	人数	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	
		人件費	568	578	578	578	578	578	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人	
		人件費							
	小計(C)	568	578	578	578	578	578	578	
	合計(D=(B+C))	901	1,241	1,246	1,246	1,246	1,246	1,246	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
[収支]	一般財源充当額(D-A)	901	1,241	1,246	1,246	1,246	1,246	1,246	
	(うち繰越金)								
	※前年度比	—	340	5	0	0	0	0	
	対象者あたり一般財源充当額								

必要性	6. 市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
離婚等で悩む女性が、不利な条件で離婚することになり、困難を抱える女性が増える。	(概ね) 順調		
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	委託・指定管理(非公募・随意)	直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度記載した改善策	法律相談枠を拡充し、よりタイムリーに、また、専門的な相談に対応できるようになったが、日常的な相談についても対応できるよう相談体制の充実に努めていく必要がある。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 回数が、月1回年12回になり、タイムリーに相談を受けることができるようになった。職員も相談研修に参加し、自己研鑽に努めた。
現時点における課題及び課題に対する改善策	相談ニーズに対応するため、女性弁護士による法律相談日の拡大について、広く周知していく。また、担当職員が研修等の受講を通じて、資質向上に努め、関係機関と連携していくとともに、市の女性相談員による相談体制の充実に努める。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	福永 富美子	現状維持	離婚相談が増えているため。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分 コード	会計 01	款 02	項 01	目 18	細目 152	細々目 52
	事業名	0149										
	基本施策	41	あらゆる場に男女がともに参画する社会をつくる	所属	100900	人権生活環境部人権政策・男女共同参画課	連絡先(記入者) 河野 慶子 22 - 9632					

概要	事業概要	伊賀市男女共同参画ネットワーク会議会員で構成された実行委員会の企画・運営による男女共同参画フォーラム「いきいき未来いが」の開催						事業期間									
	根拠法令・要綱等	男女共同参画社会基本法・伊賀市男女共同参画推進条例				審議会・委員会等		平成	9	年度	～	平成	年度				
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号	3							
	対象(誰を、何を)	男女共同参画に関連する活動へ、積極的に参画しようとする団体・個人				※対象 件数		単位		H23実績		H24実績		H25見込		H26目標値	
	成果(どうする)	地域活動の核となる団体や人材が育成される。															
H24 実施 内容	平成24年6月16日(土)に「男女共同参画フォーラムいきいき未来いが2012」をふるさと会館いがで開催した。オープニングは上野商工会議所女性部による踊り、フジテレビアナウンサー笠井信輔さんによる講演会、その他会員による展示・販売などを実施した。																

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23		H24		H25	H26	
	活動指標	フォーラム参加者数	人	目標 300.0	実績 475.0	目標 350.0	実績 424.0	200.0	200.0
成果指標	ネットワークの加入団体数	団体	目標 38.0	実績 37.0	目標 40.0	実績 41.0	42.0	44.0	

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									
	国費 (補助率)									
	県費 (補助率)									
	地方債									
	その他									
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)	
[支出]	委託料	676	315	396	396	396	396	396	特記事項記入欄(有資格者の状況等)	
	報償費	3	116	162	162	162	162	162		
	その他		210	247	247	247	247	247		
	その他事務経費									
	小計(B)	679	641	805	805	805	805	805		
人件費	正規職員	人数	0.7人	0.7人	0.7人	0.7人	0.7人	0.7人	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
		人件費	3,977	4,044	4,044	4,044	4,044	4,044		
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人		
		人件費								
	小計(C)	3,977	4,044	4,044	4,044	4,044	4,044	4,044		
	合計(D=(B+C))	4,656	4,685	4,849	4,849	4,849	4,849	4,849		
[収支]	一般財源充当額(D-A)	4,656	4,685	4,849	4,849	4,849	4,849	4,849		
	(うち繰越金)									
	※前年度比	—	29	164	0	0	0	0		
	対象者あたり一般財源充当額									

必要性	6. 市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
男女共同参画を推進する核となる人材の活動の場がなくなる。	(概ね)順調		
関与の妥当性		協働の状況など	伊賀市男女共同参画ネットワーク会議
実施方法 (該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	委託・指定管理(非公募・随意)	直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度 記載した 改善策	現在の市内の状況では、団体活動が中心で、地域活動の核となる人材が不足している。平成23年度から開講した女性リーダー養成連続講座の修了生と人材バンク登録者をいかに活用するか、活動の場を提供していけるかが課題である。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 女性リーダー養成連続講座修了生がネットワーク会議に加入し、今後、実行委員として活動するよう促している。
現時点における課題 及び 課題に対する改善策	集客の方法、男性・企業を呼び込む方法を検討する必要がある。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	福永 富美子	現状維持	女性リーダー養成連続講座修了生やネットワーク会議加入団体が増える中、その活動の場が必要。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分 コード	会計 01	款 02	項 01	目 18	細目 152	細々目 53
	事業名	0150										
	基本施策	41	あらゆる場に男女がともに参画する社会をつくる	所属	100900	人権生活環境部人権政策・男女共同参画課	連絡先(記入者) 河野 慶子 22 - 9632					

概要	事業概要	男女共同参画に関する講座の開催				事業期間										
			平成	年度 ~ 平成	年度											
	根拠法令・要綱等	男女共同参画社会基本法・伊賀市男女共同参画推進条例			審議会・委員会等											
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入					分掌事務番号	3							
	対象(誰を、何を)	就学後の市民			※対象 件数		単位		H23実績		H24実績		H25見込		H26目標値	
	成果(どうする)	男女共同参画意識の浸透を図ることができる。														
H24 実施 内容	「いきいき未来いが2012」「女性リーダー養成連続講座」「もっと活かそう！地域の女性力」「悠々講座」「父子料理教室～中華編～」女性に対する暴力防止セミナー」「女性講座～自分の人生は自分で決める！～」伊賀市男女共同参画ネットワーク会議研修会「私のチャレンジ」「再就職準備セミナー」															

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明	
			H23		H24		H25	H26		
	活動指標	講座・講演会	回	目標	2.0	目標	7.0	20.0	20.0	連続講座は延べ回数、5支所含む
				実績	12.0	実績	16.0			
成果指標	「男は仕事」「女は家事・育児」と思わない市民意識の割合	%	目標	70.0	目標	70.0	70.0	70.0		
			実績	83.0	実績	89.5				

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。								特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額			
	[収入]	使用料・手数料									
		国費 (補助率)									
		県費 (補助率)									
		地方債									
		その他									
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)	
	[支出]	報償費	40	73	340	340	340	340	340	特記事項記入欄(有資格者の状況等)	
		旅費	0	0	18	18	18	18	18		
委託料		250	300	300	300	300	300	300			
その他		146	176	263	263	263	263	263			
その他事務経費											
小計(B)		436	549	921	921	921	921	921			
[人件費]	正規職員	人数	0.7人	0.7人	2.0人	2.0人	2.0人	2.0人	人数に支所分1.25人分含む (伊賀:0.25人、阿山:0.25人、大山田:0.25人、 島ヶ原:0.25人、青山:0.25人)		
	人件費	3,977	4,044	11,265	11,554	11,554	11,554	11,554			
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数									
	人件費										
小計(C)	3,977	4,044	11,265	11,554	11,554	11,554	11,554	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)			
合計(D=(B+C))	4,413	4,593	12,186	12,475	12,475	12,475	12,475				
[収支]	一般財源充当額(D-A) (うち繰越金)	4,413	4,593	12,186	12,475	12,475	12,475	12,475			
	※前年度比	—	180	7,593	289	0	0	0			
	対象者あたり一般財源充当額										

必要性	6. 市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
性別・年代・目的に合わせた、決め細やかな啓発ができず、意識の低下につながる。	(概ね)順調		
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法 (該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	委託・指定管理(非公募・随意)	直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度 記載した 改善策	各種講座への参加人数は増えつつあるものの、まだまだ少なく、新たな参加者を呼び込み、受講者の増加を図っていくことが、課題である。	左記 改善策 への 取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 今年度から始まった「入札における総合評価制度」を活用した企業からの参加者が増えた。(特に男性)
現時点における課題 及び 課題に対する改善策	「入札における総合評価制度」をさらに活用し、企業、男性の参加者を増やす。地域により意識に差があるので、支所との連携をさらに強化していく必要がある。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	福永 富美子	現状維持	参加者の少ない講座のあり方、集客方法等を検討し、内容の充実を図る。